



当社の陸上競技部の活動を紹介します。

日本陸上競技選手権大会

第106回日本陸上競技選手権大会に、当社陸上競技部の選手が出場しました。

5月7日に国立競技場（東京都新宿区）で行われた10000mに難波天選手が出場。続く6月9・10日にヤンマースタジアム長居（大阪府大阪市）で行われた5000mに服部弾馬選手、1500mに河村一輝選手・野口雄大選手・竹内大地選手が出場しました。1500mの現日本記録保持者の河村一輝選手は、この大会で5位に入賞しました。



▲難波天選手（中央）



▲竹内大地選手（先頭）、河村一輝選手（2人目）、野口雄大選手（4人目）



▲服部弾馬選手

◆10000m			
順位	出場選手	タイム	
18位	難波 天	28分21秒14	
◆5000m			
順位	出場選手	タイム	
24位	服部 弾馬	14分05秒41	
◆1500m			
順位	出場選手	タイム	
5位	河村 一輝	3分44秒10	
10位	野口 雄大	3分46秒48	
11位	竹内 大地	3分46秒83	

岐阜県の強化指定選手に選ばれました

河村一輝選手は、4月28日、岐阜県の2022年度強化指定選手に選ばれました。これは、全国や世界の大舞台で活躍が期待される岐阜県にゆかりがあるスポーツチームや選手をサポートするものです。



▲河村一輝選手

強化指定選手の名に恥じないように、また、私の走りで多くの方に感動していただけるように頑張ります。

MGCのファイナリスト証を受けました

中西亮貴選手は、2022年2月に大分県で開催された別府大分毎日マラソンで、MGC※出場権を獲得しています。これにより、日本陸上競技連盟から、5月11日に、ファイナリストの証である盾を受け取りました。

※2023年に開催予定のパリ五輪日本代表選手選考レース



▲中西亮貴選手

出場権を獲得したことはゴールではなくスタートです。MGCではしっかり結果を残せるように日々精進していきます。

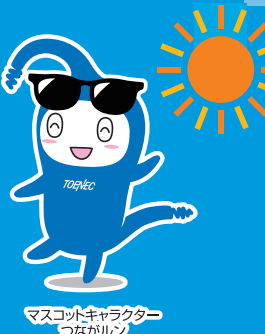
2022 Summer
TOENEC NEWS

トーエネック ニュース

トーエネックニュースは年4回（1月・4月・7月・10月）発行です。

発行 〒460-0008 名古屋市中区栄1-20-31
株式会社トーエネック 総務部 広報グループ
TEL 052-219-1906
ご意見・ご感想・お問い合わせなど お待ちしております。

本紙で紹介している
以外にも当社の最新
ニュースや施工実績を
HPでご覧いただけます。



No.17

TCFD （気候関連財務情報開示タスクフォース） 提言への賛同と情報開示

当社グループは、4月28日に、TCFDによる提言に賛同することとしました。
TCFDは、気候関連財務情報開示タスクフォースと言い、2015年に設置されました。TCFDは、企業などに対し、投資家の適切な投資判断のために、気候変動関連リスクと機会に関する財務的影響について情報開示することを推奨しています。
当社グループは、TCFD提言に基づき、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の4つの視点から、気候関連情報を開示しています。



当社ホームページにてTCFD提言に基づく情報を開示しています。
（左のQRコードをご参照ください）



テロ対策のモデル事業所に指定



▲指定式の様子（左が当社の津営業所長）

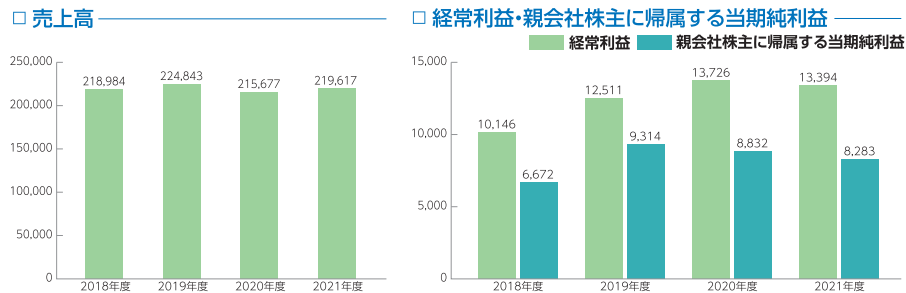
当社は、5月13日に、三重県の津警察署から、テロ対策の取り組み「みテますキープ制度」のモデル事業所に指定されました。「みテますキープ制度」は、津警察署が管内の事業所と二層に取り組み「テロ対策津パートナーシップ」の環で「みんなの目」に「まけない」「すトップ」の頭文字が名称となっています。
今回は、当社の津営業所がモデル事業所に指定されました。津営業所で行われた指定式には、当社従業員や警察関係者など約60人が参加し、津営業所長が津警察署長より指定の象徴としてクリスタル像を贈呈されました。
今後、津営業所では、現場作業中に不審物や不審者を発見した際の対応などについて、警察による指導を受けながら訓練や講習に取り組みでいく予定です。

■ 連結・個別 経営成績 (単位:百万円)

	2022年3月期		2021年3月期	
	連 結	個 別	連 結	個 別
売 上 高	219,617(1.8%)	197,749(0.7%)	215,677(△4.1%)	196,351(△3.5%)
営業利益	14,072(△9.3%)	12,202(△8.6%)	15,509(16.5%)	13,354(19.8%)
経常利益	13,394(△2.4%)	11,053(△9.7%)	13,726(9.7%)	12,241(19.7%)
親会社株主に帰属する当期純利益 (個別は、当期純利益)	8,283(△6.2%)	6,724(△7.8%)	8,832(△5.2%)	7,292(△7.7%)

※百万円未満切捨て ※％表示は対前期増減率

■ 連結 業績推移 (単位:百万円)



2021年度決算
（2021年4月1日～2022年3月31日）
当社グループは、中期経営計画2022～2020年度～2022年度において、①事業拡大と基盤強化、②収益力向上に向けた競争力の強化、③人材の育成強化、④企業風土改革の推進の4つの重点方針を掲げています。これらの方針に基づき、屋内線工事、空調管工事および通信工事では、中部圏に加えて首都圏や関西圏における営業活動や、海外事業基盤の強化を図りました。電力関連工事においては、業務効率化およびコスト低減に一層努めました。また、企業の存続にはお客さまや社会からの信頼が不可欠であるため、コンプライアンスと安全意識の徹底に取り組んできました。
2021年度の業績は、売上高は僅かに増収となりましたが、利益面については、工事採算性の低下や一般管理費の増加などにより減益となりました。



▲動画はこちらから
ご覧いただけます。



「情報通信」の仕事紹介動画が完成

当社は「情報通信」の工事でも手掛けていることを皆さまに知っていただくため、PR動画「みんなをつなぐ」TOENECK 情報通信の仕事」を制作しました。

この動画は、とある女子大生を主人公にその暮らしを描きながら、スマートフォンやインターネットなどの通信インフラを陰で支える、もう一人の主人公として当社の様々な仕事があることをお伝えする内容となっています。

携帯電話基地局の工事など、当社における情報通信工事の様子を紹介するとともに、現場作業に従事する若手社員が働く誇りや喜びを語っています。

動画「みんなをつなぐ」TOENECK 情報通信の仕事」はYouTubeや、当社ホームページから視聴可能です。



消防隊員の救助研修に協力

当社は羽島郡広域連合消防本部の要請を受け、岐阜南営業所へ同本部の救助隊員を招いて電柱事故発生時の救助研修に協力しました。

当日は、当社の従業員が講師を務め、電気設備や感電防止に関する机上教育を行った後、構内にある模擬電柱を使って、電柱上で作業中に感電事故が発生した想定で、要救助者に見立てた人形を使って救助訓練を行いました。

尼崎市立学校給食センター

兵庫県の尼崎市立学校給食センターが完成しました。同センターは、尼崎市内の市立中学校17校の給食（1日約11,000食）を調理しています。当社は、電気空調衛生設備工事を施工しました。

施工メモ

今回施工した給食センターには、食器の洗浄室へ、当社が㈱A-I-HO様と共同開発した食器洗浄システム「Eco-Vent ACA」を採用しています。

給食センターでは、食器洗浄機からの放熱や水蒸気の漏えいなどによる室内環境の悪化が問題となっています。Eco-Vent ACAは、従来の洗浄機が行っていた「排気」に加え、外気を「給気」し洗浄機内へ送り込みます。これにより洗浄機内の温度を下げるとともに、排気に給気を加えることで排気量を減らし、空調された室内空気の屋外排出を低減します。さらに給気した外気は、洗浄機内でエアーカーテンの役割をするため、水蒸気の排出を抑えます。これらにより、室内環境の改善とともに、省エネ効果も期待できます。



▲洗浄室



施工概要

■工事場所 兵庫県尼崎市西川1丁目110
■工期 2020年10月1日～2021年12月31日



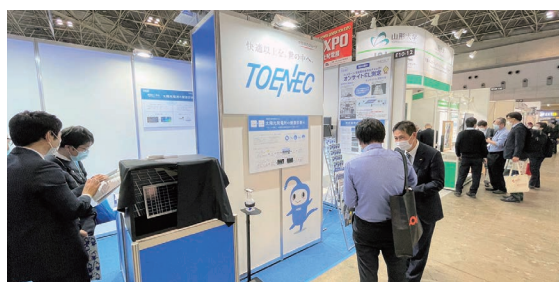
▲Eco-Vent ACA



「JECA FAIR 2022」に出展

当社は、6月1日～3日の期間、電気設備に関する展示会「JECA FAIR 2022」／場所…東京ビッグサイト（東京都江東区）に出展しました。当社ブースでは、金属工場などで排出されるスカム※を分離し廃液を減らす「スカム減容化装置」や、当社のエネルギーマネジメントシステム「TOEMS」によるマイクログリッド監視制御事例などの製品サービスや、配電線工事で発生する伐採樹木をバイオマス燃料として使用する取り組みなどを紹介しました。

※油や水に金属くすなどが複雑に結合した物質



当社独自の太陽光パネル診断技術を紹介

当社は、3月16～18日の期間、太陽光発電に関する展示会「PV EXPO 国際太陽光発電展」／場所…東京ビッグサイト（東京都江東区）に出展し、当社の独自技術を実施したカメラによる太陽光パネルの劣化診断サービス「オンサイトEEL測定サービス」を紹介しました。当社のサービスは、現地でパネルの劣化診断ができるため、従来の同じ診断手法に比べ、安全効率・コスト面などで非常に優れています。

オンサイトEEL測定の間合せ先
052161911707

三菱UFJ銀行名古屋ビル

愛知県名古屋市中区錦3丁目21番24号の旧東海銀行本店ビル跡地に、三菱UFJ銀行名古屋ビルが完成しました。同ビルは内装や外壁に地元産の材料を使用しており、地域に密着したコンセプトとなっています。当社は、電気設備工事を施工しました。

施工メモ

今回施工したビルは、BCP対策として、電源システムを6系統とし、72時間以上完全独立して電気を供給することが可能です。

また、銀行の建物内には金庫や保管庫などがあります。それら重要な部屋の施工にあたって、火災防止のために天井裏へ配線しないといった配慮をしました。建物内には、「貨幣・浮世絵ミュージアム」があり、古い紙幣や貨幣のほか、「東海道五十三次」などの作品で有名な江戸時代の浮世絵師、歌川広重の原画などが展示されています。ミュージアムの施工においても火災防止のため、天井裏に配線を通さないようにしています。また、紙の保管は湿度や温度が重要であることから、温湿度も細かく管理できるようにしました。



施工概要

■工事場所 愛知県名古屋市中区錦3丁目21番24号
■工期 2019年5月1日～2021年7月31日



▲執務室エリア

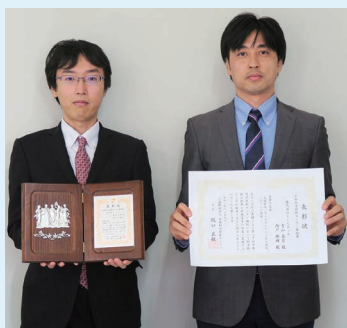
表彰

（公財）中部科学技術センターから表彰

12月9日

技術研究開発部 研究開発グループ
西戸雄輝研究副主査、青山泰宏研究副主査

2人が中心となって研究開発した太陽光パネルの劣化診断手法である「太陽電池パネルのオンサイトEEL測定システムの開発」が、科学技術の振興と地域産業の発展に貢献すると評価されました。



▲（右から）西戸研究副主査、青山研究副主査

浜北警察署から感謝状

12月23日

浜北営業所 大石英典所長

静岡県浜松市（浜北地区）の安全運転管理協会役員として交通安全活動に積極的に関わり、交通事故防止に多大な貢献をしたと評価されました。

